

発刊のことば



平成7年1月17日午前5時46分に発生した「平成7年（1995年）兵庫県南部地震」は、近代的都市を襲った我が国災害史上初めての都市直下型地震であり、震度7という激震は一瞬にしてライフラインや交通網を壊滅させて5,500名を超える犠牲者を出し、31万余名の方々が避難者となるなど未曾有の「阪神・淡路大震災」となりました。

この度の震災で犠牲となられた皆様に深甚なる哀悼の意を表しますとともに、被害を受けられた皆様には心からお見舞いを申し上げます。

兵庫県警察においては、全国警察の支援を得て、組職の総力を挙げ、正に懸命の救助・捜索、交通対策、治安維持活動等の諸活動を推進したところでありますが、震災後1年を経過した今、静かに、推進してまいった諸対策を振り返ってみますと、予期しなかった大自然の力を目のあたりにして、人間の力の限界を知らされるとともに幾多の反省すべき点もございました。

この度、この災害警備活動の概況を編纂することといたしました。この記録誌が将来にわたるこの種活動の参考となれば望外の幸せであります。

最後に、災害警備活動に関してご指導をいただいた警察庁、近畿管区警察局及び26次にわたる特別派遣部隊で応援くださった全国警察並びにいち早く支援対策本部を設置して支援活動を展開された大阪府警察及び近畿管内各府県警察の皆様には深く感謝いたしますとともに、緊密な連携とご協力をいただいた兵庫県、市町、自衛隊、消防等の関係機関及びボランティアの皆様に対し厚くお礼を申し上げます。

平成8年1月

兵庫県警察本部長

滝 藤 浩 二